

令和7年度

第1回伊丹市空家等対策協議会会議録（要約）

開催日時	令和8年（2026年）1月27日（火）10:00～
開催場所	伊丹市立総合教育センター 3階 多目的室
議事 及び 議決事項	1) 空家等対策の経過等について 2) 管理不全空家等及び特定空家等の報告について
傍聴人	0名

会議出席者

委員 岡 絵理子（会長）	事務局
// 西澤 久樹	都市整備室長 北野 啓二
// 岡本 英子	建築指導課長 江崎 幸子
// 宮内 正次	住宅政策課長 矢野 敬一
// 青山 純子	生活環境課長 前田 徹
// 富高 真生	業務課長 大野 喜史
// 井口 智貴	業務課主幹 原田 隆司
// 藤井 紹子	
// 小宮 正照	建築指導課主査 森田 浩史
	建築指導課主査 栢 敬文
	建築指導課主任 泉 雄太
	建築指導課 山下 晃生

事務局	<p><協議会の成立> ※委員9名出席 ※伊丹市空家等対策協議会の運営に関する規程第2条第2項</p> <p><委員紹介> <都市活力部長挨拶> <所掌事務の説明> ※伊丹市空家等対策協議会条例第2条</p> <p><会長の選出> 会長：岡委員、会長代理：岡本委員に決定</p> <p><会議録署名委員の指名> ※岡本委員 井口委員</p> <p><議題説明> 「空家等対策の経過等」 外部団体との連携状況、講座や相談会の報告、通報件数の推移、空き家活用支援事業の状況について説明</p>
-----	--

<p>委員 事務局</p>	<p>講座の参加人数が少ないと思うがどうか。開催時期は、お盆明けでよいと思う。 本市では、空家等が、地域として大きく問題になっていないためだと考える。 参加人数が少なくても、定期的を開催することは予防の観点から効果的であると考えているため、続けていきたい。 タウンミーティングでも空き家問題は話題になっているため、市民の関心はある。 講座等の周知が不足していることも考えられるため、いろんな媒体を活用して啓発することを検討したい。</p>
<p>委員 委員</p>	<p>空き家に関する問題は他人事として準備していない人が多い気がする。 私個人の事業として空家等について相談を受けたり、「住まいのエンディングノート」を紹介したりしているが、所有者世代は平日働いている人が多いので、土日開催の方が参加しやすいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>デイサービス施設で空家等の啓発をしている自治体もある。空家等を解決していくために、デイサービス施設でエンディングノートを活用した啓発することが効果的ではないかと思うので、検討してみてはどうか。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>空き家活用支援（リフォーム補助）の活用実績を教えてほしい。 国・県の補助金がなくなったため、今年度は 0 件だが、市民からの問い合わせはあった。今後も補助に関する案内は行う。</p>
<p>委員 委員</p>	<p>この制度が使いにくいのでは？ 制度を利用する側は、借地借家法との関係で個別賃貸にはメリットが少なく、10 軒ぐらいまとめて賃貸する場合なら良いようだ。業者選びも難しい。</p>
<p>委員</p>	<p>市が業者紹介を検討してはどうか。他自治体では登録業者リストの案内例もある。市がきちんと業者教育もしている。</p>
<p>事務局</p>	<p>市が特定の業者を紹介することは、慎重にしなければならない。伊丹市からの業者の紹介は難しいところがある。空家等の改修としては NPO 法人等と協働して取り組んでいる。</p>
<p>委員</p>	<p>兵庫県の住宅改修業者登録制度により登録されているリフォーム業者検索もある。 兵庫県の業者検索のサイトについて、空家等に関心のある私たちですら知らないため、もっと周知をしてもよいと思う。</p>
<p>—————【ここから非公開部分】—————</p>	
<p><協議会終了></p>	
	<p>署名人 伊丹市空家等対策協議会委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p>